学校番号	３００１

令和２年度　フラワーファクトリ科

教科	農　業科	科目	果樹	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	果樹（実教出版）						
副教科書							

1.　担当者からのメッセージ(学習方法等)

各種果樹の基本的な生理現象や栽培管理についての知識を習得するとともに実際に体験することで、実践的な知識の習得を目指します。

2.　学習の到達目標

・果樹の特性や果樹栽培に適した環境を理解させ、果樹の栽培と果樹園の経営に必要な知識と技術を習得させるとともに、生産性の向上を図る能力と態度を育てる
・各種果樹の栽培を体験させ、それぞれの作業の意義や役割を理解させ、果樹経営に関する興味付けを行う。

3.　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：思考・判断・表現	c：技能	d：知識・理解
観点の趣旨	果樹の栽培管理について興味・関心をもち、主体的に学習に取り組むとともに、各栽培管理方法とその目的、技術について探究しようとしている。	①栽培管理の方法とその目的を関連付けて思考を深めている。 ②実習において自分が何をするべきか適切に判断、行動している。	各果樹の栽培管理作業の目的や意味を関連付け、理解した上で、作業する技能を身に付けている。	果樹の栽培管理に必要な基本的知識（各果樹の生育・生理、結果習性、樹木の枝の構造、枝の種類・特性）を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 実技課題	学習状況の観察 レポート	学習状況の観察 実技テスト 実技課題	学習方法の観察 定期考査 レポート
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4.　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(教材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	果樹の成長と栽培環境 果樹の栽培管理	○果樹の生育と生理 ○春果樹の観察 スケッチ・特徴(ビワ、モモ、ナシ、ウメ、クリ、イチジク、リンゴ、ブドウ、ペカン) 袋かけ(ビワ、モモ、ナシ) 摘粒、花穂の切り込み、摘房、摘心(ブドウ)	○ ○	 ○	 ◎	○	a：果樹の栽培管理について興味・関心をもち、主体的に学習に取り組もうとしている。 b：作業の意味を理解し、次に自分が何をするべきか適切に判断、行動している。 c：各栽培管理作業において、基本的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d：果樹の生育と生理に関する基本的知識、各種栽培管理作業の意義や原理を理解している。	授業観察 定期考査 実技課題 ノート
2学期	果樹の栽培管理	○秋果樹の観察 スケッチ・特徴(ビワ、モモ、ナシ、ウメ、クリ、イチジク、リンゴ、ブドウ、ペカン) ○果樹の礼肥 （ビワ、ナシ、ブドウ、ウメ） ○果樹の栽培管理 収穫・選別(ミカン、カキ)	○ ○ ◎	 ○	 ◎	◎	a：果樹の栽培管理について興味・関心をもち、主体的に学習に取り組もうとしている。 b：作業の意味を理解し、次に自分が何をするべきか適切に判断、行動している。 c：各栽培管理作業や接ぎ木において、基本的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d：果樹の繁殖に関する基本的知識、各種栽培管理作業の意義や原理を理解している。	授業観察 定期考査 実技テスト 実技課題 ノート

3学期	果樹の栽培管理	○果樹の施肥について ・クリ ○果樹の粗皮削り ・ブドウ ・カキ	○ ○	 ◎	◎	○ ◎	a：果樹の施肥について興味・関心をもち、主体的に学習に取り組もうとしている。 b：作業の意味を理解し、次に自分が何をするべきか適切に判断、行動している。 各果樹の結果習性、枝の配置や構造、養分の分配や樹高、来年度の樹形をイメージし、適切に判断しながらせん定に取り組んでいる。 c：施肥において、基本的な技術(目的に合った堆肥の作り方・施しのポイント)を身に付け、その技術を活用している。 d：施肥に関する基本的知識や原理を理解している。	授業観察 定期考査 実技テスト ノート

※原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することになるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○または◎をつけている。